

## お互いさま推進協議会協議会等で出された意見

項目	内容
通いの場	<p>(百合が丘) 開催している場所が他のサークル活動でも使用されております。場所代などはかかりませんが、有料で場所代を払って活動している他のサークル活動の方が優先されてしまいます。地区の中では柔軟に対応しておりますので今現在は問題なくスケジュール通り通いの場を開催しておりますが、新たにイベントなどを開催する場合には、場所の確保が難しい。</p>
	<p>(通いの場運営の立場) 今後も継続性を持って開催していくには開催する側の人材確保が課題。</p>
	<p>(一色) 緑が丘では、水曜日はミニデイの流れで、オーダー制で昼食をとりながら通いの場を開催していますが、食事の提供には大変苦労がある。お昼が必要な人は、事前に名前の登録や出欠席の連絡をする決まりですが、連絡がないこともあり担当者は苦労している。</p>
	<p>(緑が丘) 水曜日以外にも土曜日に子どもから大人まで誰でも参加できるというかたちで通いの場を開催しておりますが、土曜日に設定した効果が出ておりません。</p>
ベンチ関連	<p>(緑が丘) 昨年バス停にベンチの設置の要望があったため自治会で検討しましたがバス停近くの住民に反対されたため中止になりました。しかしベンチの要求は、あるため考えなければいけない。</p>
	<p>(お店) イートインスペースも若い方が占領していることもあり、高齢者が座れない。</p>
	<p>(お互いさまで委員) 公園にベンチが多く、いざ使用したいところにはない。公園内のベンチの安全性も確認したい。</p>
認知症関連	<p>(にのにんカフェ) 介護者同士が繋がれる機会がほしいというお声が多くありました。</p>
	<p>(いちふく) いっぷく茶屋で、にのにんカフェも実施。しかし集まりが少ないので情報発信に取り組んでいかなければならない。</p>
	<p>(包括) 介護サービスが入ると地域の方は安心してしまって、地域との距離が生まれる。本人にとっては寂しく感じてしまう。</p>

項目	内容
認知症関連	<p>(お店) 最近お店に来る方で、認知症の方が増えています。お金も何も持たず、これが欲しいという方だったのですが、誰ときたのかと聞くと娘と来たとおっしゃるので、館内放送で呼びかけましたが、一向に来ません。ここで待っていてくださいと言っても落ち着きがなく、どこか行ってしまうので従業員を一人つけて、少しずつ、お名前やどこから来たかというのを聞き出して、なんとか自宅の連絡先を聞き出すことができました。自宅にかけてみると合っていて、奥様が出られましたが、迎えに来ていただけない状況でしたので、警察に電話してお願いしているケースが何件かあります。こうした高齢者の支援が必要。</p>
認知症関連	<p>(地域ケア会議) 当事者が活躍できる場、特技を発表できる場があれば、進行予防、自信を持つことにつながる。</p> <p>(地域ケア会議) 子どもの頃からの教育が必要。それが、認知症でも安心して過ごせる地域に繋がると思う。</p> <p>(地域ケア会議) 当事者が安心して外歩きができる環境や見守りネットワークがあればと思う。</p>
駐車関連	<p>(包括) 在宅介護を支えている事業所では訪問先で車を止める場所に困っています。駐車場があるご自宅はいいですが、そういったところばかりではなく駐車禁止を取られてしまったりすることもあります。</p>
こども食堂	<p>(こども食堂) 月に1回調理室で開催。来にくい場所なのか参加者が少ない。1月の開催時は20名位。</p>
移動支援 (買物)	<p>(いちふく) 時間的には1時間が限度。時間の設定。(サポートを) 2人同時にするのは難しい。</p>
担い手不足	<p>(包括、NPO) 介護タクシーのニーズが多すぎて対応しきれっていない。介護の専門職の人数が少なく介護の資格を目指す人も少ない。介護や医療現場の課題は慢性的な人手不足。</p>
見守り	<p>(地域ケア会議) 高齢者虐待の通報へのハードルが高い。通報件数も少なく、潜在的になっていないか心配である。</p> <p>(地域ケア会議) 若い世代(引きこもり等)を把握しにくく、サポートする機関も少ない。引ひこもりに対する理解が難しい</p>
ケアラー支援	<p>(地域ケア会議・にのんカフェ) 介護している家族は孤立しやすいため、ケアラー支援が必要だと思う。</p>